

駒林 良則（こまばやし よしのり）氏

【現 職】

立命館大学法学部特任教授
博士（法学、大阪市立大学）

【略 歴】

1955 年大阪府生まれ。
大阪市立大学大学院法学研究科公法学専攻修士課程修了
修了後大阪府庁入庁（1980～1985 年）
1985 年 4 月名城大学法学部専任講師
同助教授、教授をへて
2009 年 4 月より立命館大学法学部教授
2021 年 3 月末 同定年退職
2021 年 4 月より 同特任教授
議会事務局研究会（<https://sites.google.com/site/gikaijimu/home>）代表
大津市議会アドバイザー、立川市議会アドバイザー

【専門分野】

行政法、特に地方自治法

【主要な公職関係（現在）】

滋賀県公有財産審議会委員（会長）、同県行政不服審査会委員（会長）、
長浜市情報公開個人情報保護審査会委員（会長）

【業績関係】

主著（単著）

- ・『地方議会の法構造』（成文堂、2006 年）
- ・『地方自治組織法制の変容と地方議会』（法律文化社、2021 年）

主編著

- ・『地方自治法入門 第3版』（成文堂、2024 年）

最近の主な著書・論文等（議会関係のみ）

- ・『地方自治法の基本』（法律文化社、2022 年 1 月。共著（地方議会部分を担当））
- ・「議員の位置づけの法制化を望む」自治日報 2022 年 4 月 11 日記事
- ・「議会・議員の位置づけの明文化」自治日報 2022 年 11 月 7 日記事
- ・「議員の位置づけの明文化とその先にあるもの」月刊地方議会人 2023 年 3 月号
- ・「議員政治倫理条例の検討」立命館法学 408 号（2023 年 7 月）
- ・「現在の地方議会に関する論議について」立命館法学 414 号（2024 年 8 月）
- ・「判例評釈 当選無効議員の議員報酬等に対する不当利得返還請求」民商法雑誌 160 巻 5 号（2024 年 12 月）

最近の主な活動（議会関係）

- 2021 年 11 月 広島県議会議員研修会での講演「地方議会における政策立案機能の強化に向けて」
- 2021 年 11 月 近江八幡市議会専門的事項のあり方調査会委員（座長）→『専門的事項に係る調査報告』（2022 年 3 月）への関与
- 2022 年 4 月 全国都道府県議会議長会事務局職員研修での講演「地方議会における議会事務局の役割」
- 2023 年 4 月（～11 月） 尼崎市議会政治倫理審査会委員
- 2024 年 7 月（～11 月） 松阪市議会議員定数等の在り方調査会委員
- 2024 年 5 月（～25 年 3 月 19 日）浜松市議会議員定数調査会委員（座長）→「議員定数等の在り方に関する調査報告書」への関与
- 2025 年 1 月 山梨県議会議員研修会での講演
- その他、各地の議員研修会や事務局職員研修の講師、議会審議会等の委員を務める